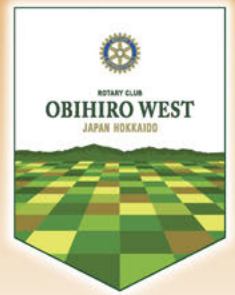


ロータリー  
変化をもたらす

# 帯広西ロータリークラブ 第2216回例会 2018.3.1 会報



## ■RI第2500地区テーマ■

今こそ行動を！  
ークラブが元気になるために  
地区が元気であるために  
そして 私たちの未来のためにー



## ■クラブ・テーマ■

積極的に奉仕し、成長しよう

## ■ゲスト紹介

WEWとから 代表 渡辺 久恵 様

## ■米山記念奨学生

カリヤワサム・マジュワナ・ガマゲ、  
レヌカ・メニケ・カリヤワサム 様

## ■3月結婚祝

親睦活動委員会 平田宗利 会員

奥田 頼昌	会員	1977.3.12
山本 範之	会員	1978.3.27
齊藤 憲生	会員	1982.3.27
小谷 典之	会員	1988.3.27
立崎 貴之	会員	1992.3.21
堂山 啓太	会員	2000.3.11
河西 智子	会員	2010.3.14
藤本 剛	会員	2013.3.15



## ■3月誕生祝

柴田 和明	会員	1935.3.30
佐々木和彦	会員	1957.3.10
谷脇 正人	会員	1966.3. 2
藤本 剛	会員	1971.3. 7
伊藤 公康	会員	1972.3.16

## ■乾杯

親睦活動委員会 鈴木 享 会員



## ■会長報告

石原英樹 会長

みなさんこんにちは。3月になりました。本日は管内高校の卒業式です。年度替りの月でもあり送別会などお酒を飲む機会も多いと思います。体調管理に気を付けましょう。



ローターアクトより帯広氷まつり「市民氷雪像コンクール」に『大空と大地の仏像』と題した雪像を作成し、勝毎社長

賞を受賞。

さて、お酒の話をします。伊藤善資さんと言う日本酒の酒史を中心にエッセイストとして活躍されている方の話です。

縄文人は「ワイン」を飲んでいたそうです。日本列島でのお酒の出現は、研究者によると縄文時代前期(約4,000~5,000年前)には果実酒があったそうです。有名な青森の三内丸山遺跡ではサルナシの果実を搾ったあとの滓が大量に発見されており、他の遺跡からも同じような果実の搾り滓と搾るための布のようなものが出土されています。そのころには「縄文ワイン」が造られ祭りなどで飲まれていたようです。

その後大陸から人々がやってきて、日本列島に水田稲作文化をもたらします。縄文時代にも穀物栽培が行われたようですが、本格的な農業は次の世代の弥生人が主導していきます。そして米による酒造りももたらされたそうです。

中国の書物「魏志倭人伝」の中に、弥生人の生活に酒は欠かせないものであると描かれてあるようで、弥生人は酒好きで、葬式・お祭りなど何かあるごとに酒を捧げ大いに飲んでいました。ただ、弥生人はお酒に弱かった人が多かったそうです。最近のDNA研究によりわかったことで、お酒に強い弱いかは、特殊な酵素(二つのアセトアルデヒド脱水素酵素)を体内に持っているかにかかってくる。酒好きな弥生人は一つしか持っていない人(酒に弱い)と両方ない人(飲めない)が約4割を占めていたそうです。二つとも持っていたのは縄文人だそうでやたら酒が強く「縄文ワイン」をがぶ飲みしていたかどうかは定かではありません。

さて、皆さんは縄文人系?弥生人系?

## ■会務報告

萱場誠一 幹事

①帯広RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 3月14日(水) 午後6時

場所 ホテル日航ノースランド帯広

②帯広東RC、3月20日(火)の例会は、休会と致します。帯広RC、3月21日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広RC、3月28日(水)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、3月30日(金)の例会は、休会と致します。

会長 石原 英樹  
幹事 萱場 誠一副会長 佐々木嘉晃  
副会長 小谷 典之会場監督理事 立崎 貴之  
プログラム委員理事 北川 勝啓発行：広報委員会  
委員長 柳沢 一元 (副)河西 智子例会日/木曜日 12時30分~13時30分  
創立/1972年2月24日例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

③第6分区IM（都市連合会）開催のご案内

日 時 平成30年3月24日（土）午後1時30分

（受付:1時より）

〈懇親会〉午後5時45分～午後7時15分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

・基調講演14:00～15:00

RI第2500地区ロータリー財団監査委員長

小船井修一PG

・特別講演15:10～17:00

スピードスケート選手による講演

※尚、帯広西RC、3月22日（木）の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、3月23日（金）の繰下げ例会と致します。

帯広南RC、3月26日（月）の繰上げ例会と致します。

帯広東RC、3月27日（火）の繰上げ例会と致します。

帯広RC、4月4日（水）の繰上げ例会と致します。

④帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 3月29日（木）午後6時30分

場 所 北海道ホテル

⑤本日例会終了後、定例理事会を開催致します。

ニコニコ献金 親睦活動委員会 本田美喜男 会員

石原 英樹 会長

3月に入りました。残り4ヶ月宜しくお願い致します。

佐々木和彦 会員

本日、担当例会です。宜しくお願いいたします。

本田美喜男 会員

ニコニコ発表をさせて頂きました。



ニコニコ	3月1日	6,000円	
献金	累計	789,531円	(3月1日現在)

□プログラム

社会奉仕委員会 佐々木和彦 会員

# 「食べるをまんやかに、つながる子ども食堂」

WEWとかち 代表 渡辺 久恵様



WEW（ウィー）とかちとは？おじさんお婆さんからのメッセージ「今のままでいいんだよ…」

活動地域

帯広市と近郊町村

活動目的

近年子どもや若者を取り巻く状況は、社会の中で希望を見出すことがさらに難しく深刻な社会問題になっています。

私たちは2008年に若者の相談支援をスタートさせ、その後不登校の保護者支援、若者の居場所作り、子供の学習支援活動を帯広市を中心に続けてきました。これらの活動を通して私た

ちは人は環境が整うと一生懸命がんばる存在であるという「自己実現の人間観」を確信しました。「子どもが子どもらしさを過ごす「ゆっくりと時間が尊重され、おとなが明日への活力を培い、文化的な素養を高め、子どもを愛することができる「再生産の時間」が、当たり前のごとして保証され（大阪大学大学院教授 小野田正利氏）」る環境を、地域の子どもや若者そして大人の方々と協力して創っていきたいと考えています。

活動内容

1. 不登校を語る親の会「時熟（じゅく）」（市教育委員会の後援） 1～2ヶ月に1回例会
2. 学習支援の居場所「歩歩（ポポ）」 毎週水曜日
3. フリースクール&フリースペース「くるみの森」 平日毎日10時～17時
4. 若者の居場所支援「群々かふえ」 月に1回土曜か日曜
5. ペアレント・トレーニング適宜
6. イベント事業適宜

メッセージ

不登校、若年無業者、ひきこもり等の社会問題に関する国の施策は大きな枠組みではすすんでいます、一人ひとりの違いを理解し、心情の理解に努め、迅速にきめ細かに行き届いたサービスを提供するには地域住民参加型の市民活動に大きな期待が寄せられています。

私たちは、これまでの活動を継続発展させるとともに、新たにつくるフリースクールも含め地域で子どもを育てる環境とネットワークを構築し、活力ある社会の実現に寄与していきたく思います。